

しまねろうふく

2010.4
Vol.372



上空から「世界遺産 石見銀山」全景を望む

〈目次〉

石見銀山農協労働組合のPR ……2

西部労福協第40回定期総会の報告 ……3

島根県議会議員・県生協連懇談会を開催 ……4

中央労福協・第1回地方労福協会議を開催 ……5

ろうきん NPO立ち上げを支援 ……6

全労済在宅介護サービスセンター ……7

各地区労福協活動のご紹介 江津・出雲地区 ……8

特集

石見銀山 農協労働組合のPR



次回は 6月1日(火)発行です

石見銀山農協労働組合のPR

大田地区労働者福祉協議会(石見銀山農協労働組合) 副会長 岩谷 健一

JA石見銀山は、平成5年3月1日に大田市・温泉津町・仁摩町の3JAの合併により発足しました。中世から近世の日本財政を支え、栄えた「石見銀山」を名称の由来とし、その遺産を共有する1市2町のJAが、当時の行政の枠組みを超えて結集しました。



JA石見銀山 本所

JA石見銀山の農産物は、米を基幹作物として野菜、果実、島根和牛など、品目も豊富で品質も安定しています。また、農畜産物の旨味をひき出し、長期保存を可能にした「氷感技術」を取り入れています。

石見銀山農協労働組合はJAの合併に先立ち、平成4年11月に大田地区農業協同組合労働組合として誕生しました。その後、石見銀山農協労働組合と名前を変え、それぞれの労組の古い歴史を引き継ぎながら、農協革新や農業再建などの活動に取り組んできました。

新しい時代に向けて農協はどう改革するか、農協の現状・問題点を整理し改善していく「農協革新」。地産地消や食糧自給率の向上、地域農業の発展を目指す「農業再建」。賃金をはじめとする労働条件や職場環境の改善などの取り組みを展開しています。また、地区労福協主催の運動会などの活動には、例年多くの若手労組員を中心に参加しています。若年層の労働組合活動のきっかけとして、非常に意義あるものとなっています。

今後も、労組員や農家組合員の生活の向上や地域社会への貢献を目指し、労金・労済とより良い関係を築きながら活動を行っていきたいと考えています。

最後に大田市を紹介させていただきます。

当地域は島根県のほぼ中央に位置し、海岸部から山間部へと広範な面積を有し、その大半が中山間地域で、過疎化や少子高齢化の著しい地域です。平成17年10月、大田市・仁摩町・温泉津町が合併し、新生「大田市」が誕生しました。平成19年7月には、大森町の銀鉱山跡や温泉津町の沖泊などの文化的景観が評価され、石見銀山遺跡が世界遺産に登録されました。その他、標高1,126メートルの国立自然公園三瓶山、鳴り砂で有名な琴が浜など自然環境と観光資源に恵まれ、

季節ごとに観光客でにぎわう地域です。

大田市とえば「石見銀山」と知名度は上がりました。お近くにおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。



羅漢寺五百羅漢(大森)



島根和牛

種々雑感
「しまねろうふく」投稿

副会長 仲田敏幸



済生会江津病院院長の堀江裕先生の講演を聴く機会を得た。子供の頃や病院の出来事や友達の話、趣味……。脈絡も特になく、あっちへこっちへ(先生ご容赦を！)。

しかし、話の間(ま)とか、繋ぎとかで、突然、テンポよく浪花節をうなったり、島倉千代子を歌いだしたりと、講演の終盤は、これでもかと三波春夫・三橋美智也……数曲(かなり歌われた)。こちらから、ツッコミをいれたくなるほど……。結局は引き込まれて、みんな笑顔。

先生は講演の中で、診療は「ごはん」、言葉は「おかず」。診療や看護やリハビリに添える言葉は「おかず」である。言葉による付加価値は大きいとおっしゃいました。先生の講演は言葉に加え、浪曲・歌というアイテムで私たちを飲み込んだ。先生の言葉によるコミュニケーション力に敬服し、言葉の力を感じた。

労福協運動は、人と人の繋がりで機能しており、あらためて言葉を大切にしなければと感じた次第です。

なお、先生著「診療室へお入りください〜病は言葉で治癒する〜」、「前同〜ことばの点滴いたしましう〜」ところがホッと本です。お勧めします。



西部労福協第40回定期総会の報告

西部労福協第40回定期総会は、地元島根県出雲市「出雲ロイヤルホテル」で開催されました。当日は、朝から思わぬ積雪で、交通手段の影響で時間的な遅れを心配しましたが、定刻通り、中国四国の労福協より86名という多くの参加を得て開会することが出来ました。

総会は、議長に島根県労福協の副会長である石塚代議員を選出した後、小川会長から「政権交代したが直ぐには結果は出ない。勤労者の生活不安、雇用不安を払拭し、安定した生活基盤を築くために、ここに集う中国四国のリーダーが想いを一つにして労福協運動を推進することが必要である」との挨拶を受けました。

そして、来賓の笹森会長、島根県的小林商工労働部長、出雲市長岡市長からは出雲市の観光PR等の挨拶を受けた後、島根県労福協の大崎会長より、出雲大社、松江市、世界遺産石見銀山にも足を伸ばして欲しい等の地元の名所紹介も含めた歓迎の挨拶がありました。

続いて、第1号議案から第6号議案まで順次提案があり、全議案とも承認されました。

特に、今総会は、役員改選期に当たり、下記の通りの2010年度西部労福協新役員が選出されました。そしてスローガン採択が行われ議長解任挨拶の後、定期総会を終了しました。

総会後に、中央労福協の笹森会長の「労働者福祉協議会の理念と歴史」と題し、①連合結成まで②連合20年の路線③連合と政治④連合の政策と運動路線の経緯等の内容で、それぞれの時代背景とそれに伴うご苦労や裏話等を含めての講演がありました。そして、東西冷戦構造が終焉し、いま国際秩序も崩壊する中、新しい秩序をどう作るか、連合結成20年(成人)、労福協結成60年(還暦)、そして西部労福協の総会が40回(不惑)と、節目の時と言える今、労働運動の再生に向け、労福協は地域運動と職域運動のかすがいとなり、どう安心した社会をつくるのか、ここに集った皆さんの役割である、共感の得られる労働運動を進めていこう、との講演がありました。

参加者も新たな運動への意欲をかき立てられる意義ある記念講演となりました。



議長に選出された石塚さん(島根県労福協副会長)

2010~2011年度西部労福協 役員名簿

会 長	安田 邦夫	鳥取県労福協会長
事務局長	小泉 俊一	鳥取県労福協専務理事
幹 事	神門 至	島根県労福協事務局長
	加藤 栄	山口県労福協専務理事
	吉田 修	広島県労福協事務局長
	西田 和久	岡山県労福協事務局長
	鷺沢 光男	愛媛県労福協事務局長
	藤森 申二	徳島県労福協専務理事
	藤岡 高之	高知県労福協事務局長
	杉林 利夫	香川県労福協専務理事
会計監査	坂口 順二	香川県労福協理事
	妹尾 浩二	岡山県労福協事務局次長



第40回定期総会
スローガン

新役員に選任された皆さん

**連帯・共同で安心・共生の
福祉社会をつくろう!**

島根県議会議員・県生協連懇談会を開催

3月9日（火）に島根県議会議員の皆様と県生協連との懇談会が開催され、生協の概要、災害時対応、地産地消、農業問題などを中心に意見交換が行われました。

島根県議会議事堂別館・第2会議室で開催された懇談会には、全会派から13名の県議会議員の皆様と県生協連から9名が出席行われました。

はじめに、鎌田県生協連会長より生協の社会的な役割を果たすために引き続き努力をして行きたいとの挨拶の後、各生協の役職員より生協の概要、取り組み内容の報告が行われました。医療生協からは全国の医療生協が全国連合会設立に向けて取り組みを進めていることや、他の生協から地産地消、高齢化社会に向けた取り組みなど報告が行われました。その後、事務局より県生協連の取り組みを報告し、懇談に入りました。



懇談は、参加された議員の皆様より、幾つかの購買生協があるが違いは何か、県との災害協定はどんな内容なのか、地産地消、飼料米の取り組みなど農業に関することなど様々な分野での意見が出されました。また、高齢者の方が多く、買い物にも不便を感じておられる方も多いので、生協のパイプ役としての役割を期待しているなどご意見も頂きました。災害時対応については、現在、県が地域防災計画の策定など作業を進めているので、生協としての提案なども進めたらどうかなど貴重なご意見も頂きました。

【出席頂いた議員の皆様】

- | | | | |
|----------|--------------------|---------------|---------|
| ○自民議員連盟 | ・原茂充議員（自民党議員連盟幹事長） | ・小沢秀多議員 | ・加藤勇議員 |
| ○民主県民クラブ | ・石橋富二男議員（代表） | ・和田章一郎議員（幹事長） | ・白石恵子議員 |
| | ・角智子議員 | ・須山隆議員 | ・珍部芳裕議員 |
| | ・門脇誠三議員 | | |
| ○無会派 | ・成相安信議員 | ・石倉俊紀議員 | ・尾村利成議員 |

中央労福協・第1回地方労福協会議を開催

2010年主要課題を討議

中央労福協は3月11日～12日、長野市ホテル犀北館にて第1回地方労福協会議を開催し、2010年度主要課題を討議しました。加えて「中小企業勤労者福祉サービスセンターの新たな発展に向けて」、「地方消費者行政の充実・強化に向けて」、「多重債務解決後の借りられない人へのセーフティーネット貸し付けの充実」の三つのテーマについて意見交換を行いました。

また、ライフサポート事業全国連絡会議も併せて開催されました。

会議は笹森会長が「政治に関して①マニフェストに対するこだわりと国民との意識に隔りがある。②連立の弊害が出てきている。③政治と金も問題が大きい。」と挨拶され、高橋事務局長が昨年10月以降の改正貸金業法の完全施行に向けた取り組み、改正割賦販売法の施行、協同労働の協同組合法の制定について、フードバンクを考える研究会などの活動報告を行った後、地方労福協を代表して5ブロックの事務局長から活動の報告がありました。

続いて「貧困や多重債務のない社会に向けて」「消費者運動との連携の促進」「地球環境保護、食の安全、フードバンク、エコキャップ」「勤労者のくらしサポート」「事業就労・自立支援」などの2010年度活動計画、さらに関係する122団体が対策を迫られている、2008年12月に実施された公益法人制度に対する取り組みとして意向調査の実施、および一般社団・財団移行認可申請研修会開催について討議しました。

特別テーマⅠ

「中小企業勤労者福祉サービスセンターの新たな発展に向けて」

全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの野寺康幸会長は「国庫補助金が廃止され、また公益法人改革へ対処するため検討委員会を設置し、自立化に向けて検討を重ねてきた。企業による福利厚生時代は終わったとの主張もあるが、ワーク・ライフ・バランスなどの新たな視点からもサービスセンターの新たな方向性や意義はある。スケールメリットやネットワーク、民間の能力も活用しながら自立化に取り組みたい。労福協とも連携を深め、サービスセンター事業の法制化や統合支援なども国にも働きかけていくので、協力をお願いしたい」と訴えました。この後、もともとは連合や労福協の取り組みから生まれたことの再認識や、各地域の取り組みからの意見・要望など活発な議論が行われました。



野寺 康幸氏

特別テーマⅡ

「地方消費者行政の充実・強化に向けて」

昨年まで中央労福協の副会長を務めた消費者庁の品川尚志参事より、本年2月に策定された「地方消費者行政の充実・強化プラン」について講演を受けました。氏は消費者基本法の制定から消費者庁の発足に至る経過や成果を



品川 尚志氏

振り返りつつ、同プランに基づいた自治体の積極的な取り組みへの期待や消費者庁としての取り組み課題を説明しました。自治体の密田義人組織拡大局長からも消費生活相談員の待遇の実態について報告を受け、最後に、同プランに基づいて各地域の実情をつかみ、改善に向けた取り組みを進めることを確認しました。

ライフサポート事業全国連絡会議

まず事務局から、事業の情報交換、経費・人材育成・人材確保に係る情報交換、センター運営、事業展開に係る課題克服についての検討をするために開催したと会議の目的・趣旨を説明した後、北海道、埼玉、福井、香川、長崎の現状報告を受けて討議に入り、自治体からの補助や助成、業務委託など行政との関係などを議論し合いました。

討議終了後、高橋事務局長は「今後は人材育成、運営費などについて意見交換し、できるだけノウハウを披瀝して、お互いのライフサポートセンター運営に役立てていこう。」と締めくくりました。

中国ろうきんは3月3日、NPO立ち上げ助成制度の第2次選考会を開催し、応募6団体の中から3団体に総額40万円を助成することを決定しました。

**NPO寄付金、団体に総額50万円を贈呈
(中国ろうきんNPO寄付システム)**



NPO法人 まちづくり工房うなん (雲南市)
NPO法人 いずもサポートセンター (出雲市)

助成先団体
NPO法人 こころ (松江市)
NPO法人 プレーパークてんとう虫 (斐川町)
NPO法人 いずもサポートセンター (出雲市)

今回で4回目となる「中国ろうきんNPO寄付システム」の2009年度贈呈式が3月4日、中国ろうきん島根県営業本部で開催されました。2009年度の募集には18団体から応募があり、選考の結果、7分野10団体にそれぞれ贈呈しました。

寄付先団体

NPO法人 ぶらっと (益田市)
NPO法人 ハウル (雲南市)
NPO法人 療育センター燦々 (出雲市)
NPO法人 竹でだんだんしまね (松江市)
NPO法人 自然と人間環境研究機構 (松江市)
NPO法人 さくら総合スポーツクラブ (安来市)
NPO法人 ほっと・すぺーす21 (浜田市)
NPO法人 YCスタジオ (松江市)

島根県社会福祉協議会に寄付 3月4日

中国ろうきんポイント景品交換制度「社会貢献コース」から寄付

中国ろうきんは、地域貢献活動のひとつとして、ポイント景品交換制度「社会貢献コース」を設け、社会福祉施設等への寄付を行うこととしています。

このたび、「社会貢献コース」に応募があったポイントを寄付金に換算し、中国5県の社会福祉協議会に対して寄贈することとなり、3月4日、島根県営業本部遠藤本部長から島根県社会福祉協議会今岡会長に手渡されました。今回の寄付は中国5県で150万円、その内、島根県営業本務は25万円を寄付しました。

この寄付は全国統合を控えた2011年度まで今後も続けられる予定です。



第6回中国ろうきん島根県推進機構代表者集会を開催

「ろうきんのめざすべきもの」を考える



第6回中国ろうきん
島根県推進機構代表者集会

中国労働金庫島根県推進委員会は、2月24日松江市労働会館で、2012年4月1日予定の『日本労金』の創設に向けて、第6回島根県推進機構代表者集会を開催し理解を深めました。

分散会では、合併後の店舗政策等について意見が出されました。



第6回中国ろうきん
島根県推進機構代表者集会



ほほえみ

全労済在宅介護サービスセンター

— 心を大切に笑顔でふれあい —

介護なんでも相談

困ったな～、どうしよう？
と思ったら・・・まず電話！！

0852-52-6310



居宅介護

在宅で高齢者を介護されている家族の、介護や福祉サービスなど、介護に関するご相談をお受けします。

介護相談

ご家族が安心して暮らせるように、介護の仕組みや悩み・不安など、介護についての総合的な相談に支援専門員が応じます。

福祉サービスの紹介

ホームヘルプサービス・デイサービス・入浴サービス等の紹介をします。

サービスの調整

高齢者が、必要な福祉サービスが受けられるよう関係窓口との連絡調整をします。

申請の代行

介護保険の申請手続きの相談・代行を支援専門員がお受けします。

デイサービス

介護認定を受けている高齢者がサービスセンターへ通所し、高齢者とスタッフが共に交流し、楽しい時間を過ごしていただきます。

健康チェック

看護師が、毎回血圧測定等の健康チェックをします。

入浴

明るい浴室で、介助員が入浴のお手伝いをします。

給食

栄養士の献立・センター内での調理により、作り立てのおいしい食事を提供します。

日常生活動作の援助

レクリエーション・体操・趣味活動を通じ身体機能の維持に努めます。



ほほえみ
全労済在宅介護サービスセンター

〒699-0110

島根県八束郡東出雲町錦新町8丁目1番1号

TEL(0852)52-6310 FAX(0852)52-6910

[松江]

〒690-0006

島根県松江市伊勢宮町543番地3(労済会館別館)

TEL(0852)27-1526 FAX(0852)27-1670

ホームヘルプサービス

ホームヘルパーが家庭を訪問し、日常生活上のお世話をいたします。

家事援助サービス

- 掃除、整理整頓
- 調理
- 必需品の買い物
- 洗濯
- 布団干し など

身体介護サービス

- 入浴介助
- おむつ交換
- 食事介助 など



福祉用具レンタルサービス

福祉用具貸与サービス

車椅子、ベッド等の福祉用具の利用相談及び貸与について専門相談員が行います。

- 車椅子
- 車椅子付属品
- 特殊寝台
- 特殊寝台付属品
- 床ずれ防止用具
- 体位変換器
- 手すり
- スロープ
- 歩行器
- 歩行補助杖
- 認知症老人徘徊感知機器
- 移動用リフト
(つり具部分を除く)



全労済島根県本部

2010年4月1日

人事異動のお知らせ

【転出者】

倉田 英之 … 宮崎県本部へ
北 史生 … 全労済本部へ
片桐 明子 … 福岡県本部へ

【転入者】

中原 信雄 … 福岡県本部より
吉野賢二郎 … 新入職員

自賠責共済も全労済で!!

自賠責共済推進強化期間中(2010年5月まで)

- ・新車購入時には、登録されるまでに全労済にご連絡ください
- ・継続車検時には、事前に全労済にご連絡ください

〈各地区労福協活動のご紹介〉

今月号では江津地区・出雲地区の労働者福祉協議会の活動の一部をご報告させていただきます



親子 江津地区労福協 竹とんぼづくり 教室



実施日
2010年3月13日(土)

開催時間
9:00~12:00

会場
江津市第2体育館

参加者人数
大人23名 子供30名

当日は、体育館にて竹とんぼの作り方を講師の方に指導していただき、親子で協力して作成していただきました。組み立てた竹とんぼに色付けをし、個性豊かな作品が完成しました。

出来上がった竹とんぼを使用し、講師の方に飛ばし方を教わり、滞空時間の競技を実施しました。ほぼ全員が飛ばすことが出来、子供たちは大変盛り上がっていました。

刃物を使っている作業でありましたが、怪我もなく無事終了することが出来た事と、親子のコミュニケーションの場としても有意義なイベントであったと思います。今後も江津独自企画行事として継続し、開催をして行きたいと思います。



親子ふれあい ボランティア (駅舎清掃活動) 出雲地区労福協

実施日
2010年3月21日(日)

開催時間
9:00~12:00

会場
市内無人駅
(JR7カ所、一畑電鉄12カ所)

参加者人数
大人90名 子供30名

地区労福協の地域貢献活動の推進および公共交通機関の利用促進と親子で参加することにより家庭におけるボランティア活動の意識高揚を図ることを目的に実施しました。

当日は、120名(うち家族・子ども30名)の参加者により市内の無人駅19カ所の清掃作業を行いました。

JR、一畑電鉄の関係者からも大変喜んでいただき、地域貢献という当初の目的を達成するとともに、環境美化の啓発にもつながりました。



労福協とは…



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。